

□日時：2020年（令和2年）1月26日（日）13時半～16時

□場所：熊本市立図書館（熊本市中央区大江町）2階集会室

第9回「ピースくまもと」設立準備事務局会概要報告

2 / 5版

- 1 開会挨拶 ……ピースくまもと設立準備事務局会代表 小山和作
昨年は第23回戦跡保存シンポ熊本大会の開催に注力しました。今年は「戦後75年」節目の年でもあり、何らかの形を作っていきたい。
また、自分の思いを趣意書としてとりまめて、個人的ではあるが、政官学への働きかけをはじめました。県知事への働きかけから、本日は下村県社会福祉課長様がオブザーバーとして参加いただきました。



小山代表の挨拶

- 2 参加者自己紹介（各自の近況・活動状況等を簡単に紹介してください。 ※順不同敬称略）

□小山和作・安藤富士記・上村真理子・堀浩太郎・三隅康資・吉田正昭・高谷和生

□欠席：久米野安俊・有馬信一・多田喜一郎・末永崇・宮川和夫・伊藤利明・永田 昭・高野誠二・青木栄・山野幸司・二見正輝・勝又俊一・上田欣也 矢加部和幸・赤瀬 恵・戸崎孝行・本田清悟

・中山 直・鄭 一止

□オブザーバー参加：下村正宣社会福祉課長

「県知事に小山先生からの“趣意書”を届けていただきましたので、良い内容でもあり、まずは話を聞いてくるようにとの指示がありました。本日は初めての参加ですが、いろんなご意見を聞かせていただきたいと思います。」

※参考資料 毎日新聞「戦争遺跡 全容把握6県のみ」令和元年12/8、朝日新聞「昭和だって考古学」令和元年12/1、朝日新聞「平和資料館 細る入場者」2年1/14

3 熊本に戦争と平和のミュージアム設立に向けて

(1) 5/19「第8回ピースくまもと設立準備事務局会」での内容確認

※資料1

□戦争と平和ミュージアムの「ピースくまもと」設立に向けてのタイムテーブル

（試案Ⅷベース・5/1案） ※資料2

前段○「熊本に戦争と平和のミュージアム設立を呼びかける会（仮）」の設置

○「ピースくまもと設立準備事務局会」は、発展的解散が良いのではないかな…

○新体制では、事務局会代表・事務局長ほか、事務局員全員の人選と意向確認

後段○発起人の人選、依頼、活動趣意書完成の目処

○5年を目処に資料館を設置（新設、既存民間施設の利用、公共施設への併設等）

○当面は市民グループとしての運営とし、将来的には「認定NPO・非営利活動法人」「一般財団法人」としての安定した運営が必要か

○一般公募による名称・キャラ・ロゴ等の最終決定

「戦争と平和のミュージアム ピースくまもと」「くまもと平和祈念館」他



下村県社会福祉課長の挨拶

□部会協議

A部会：コンセプト

「同」アピール文（案）3/4版検討の紹介

※資料2

B部会：調査・展示・保存

「同」基本構想（案）3/4版検討の紹介

※資料3

C部会：体制整備

「同」定款（案）3/4版

(2) 11/26「第9回戦跡保存全国シンポ熊本大会実行委員会」での内容確認

※資料3

□「熊本に戦争と平和のミュージアム設立を呼びかける会（仮）」設立

□「戦後75年・2020年 活動計画素案」

(3) 協議・意見交換

□小山代表作成「趣意書」案

※資料4

新老人の会熊本の代表として、今回の趣意書は作成した。その設置場所としては、熊本市所有の県文化財「熊本洋学教師館（ジェーンズ邸）」に隣接する案も検討してほしい。日本赤十字・博愛社の創設に関わるジェーンズ邸は「平和の館」であるので、その趣旨を熊本の平和資料館に組み込めないであろうか。



全体協議の様子

個人的ではあるが、県知事・熊本市長・熊日社長・崇城大学中山学長・市議数名に手渡した。ブーゲンビル慰霊碑は、熊日の支援で募金もたくさん集まり、小峯墓地に慰霊碑が建った。

□「戦後75年・2020年 活動計画素案」20191201

※資料5

前回協議では熊本市内設立場所として、JT跡地（六師団長官舎）、NHK跡地（陸軍皆行社）、新築される熊本市役所内に設置する案等も出された。また、設置施設として高谷案では第一の柱を実現させるために「熊本空襲資料館」を公設とし要望し、他の二・三柱は私たち民間運営で行うことを新たに提案した。

熊本市に設置する必然性を強調し、より現実的に設置を促すための方策である。戦後75年の今年に働きかけを是非行っていきたい。

□キーワード

「熊本空襲資料館・室」熊本市への設置要望 当初民営で「くまもと平和祈念館」設立
基本の三柱 設置場所 運営・運用 活動方針 設立基本構想
展示イメージ 設立「趣意書・アピール文」作成 設立「発起人」募集と依頼

□協議事項

- 具体的動きを加速させることから、今年の「戦後75年」は節目であり絶好の好機である。5年後にオープンさせる事を目標に今から準備を進めてはどうだろうか。
- 「岡山市空襲資料館」は岡山市福祉課（旧援護局）が設立したものであり、この形が熊本の平和資料館設立の手がかりになるのではなかろうか。
- ジェーンズ邸隣接が可能であれば、平和への理念を示しことができ、大きな発信としてくれ、新たな視点で平和資料館を創れるのではなかろうか。佐賀県諸富町「佐野常民記念館」と世界遺産構成施設「三重津海軍所」の様な構成も考えられる。幾つかの要素を複合させて新設資料館へのリピーターを確保することも大切である。
ただ、熊本市では「ジェーンズ邸の水前寺移築」方針で地元説明も進んでいることから、当方立案・働きかけ等が間に合うのかを心配する。
- 平和への新たな視点として、ユニセフが提唱する「SDGs（エスデーゼズ）」の目標16項目「平和と公正を全ての人に」としての「平和へのターゲット」を、今回の活動に入れながら行う事ができないだろうか。
- これまでは二ヶ月に1回の実行委員会開催であったが、次回以降は協議の内容を深め詰めるために毎月開催では如何だろうか。ただ、これまで通り会場は無料での貸借ができる「市立図書館2階集会室」を、開催は平日勤務の方や遠方からの参加の方への配慮から「土・日曜日の午後」としたい。
- 次回からは、協議すべき項目ごとに全体での協議を確実なものとしたい。事務局で8月の知事・熊本市長への要望書提出の時期までのタイムスケジュールを作成したい。
- ただ協議の素案は、既にピースあいち事例を示しているのので、各部会毎に提案して取りまとめることを基本でお願いしたい。
- 現設立準備事務局員の会参加を促しながら、参加困難な方は辞退いただき、新たに参加意欲のある方に積極参加いただく様にしてはどうか。また、事務局員全員へ参加継続の意向確認が必要ではないか。→事務局で確認を行う。
- 平成31年3月4日アピール文案と小山作成案との整合性をつける事が必要だ。
- 今後最も重要な項目は「設立コンセプト」であり、県民・熊本市民にご理解いただき、活動支援いただける内容を取りまとめる必要がある。それに合わせて部会構成を再検討したほうが良いのではないだろうか。
- 5/13 設立準備会で提案した「三本の柱」を大切にしたい。

4 連絡事項 次回以降の開催 ※会場は、市図書館2階集会室

○第10回ピースくまもと設立準備事務局会

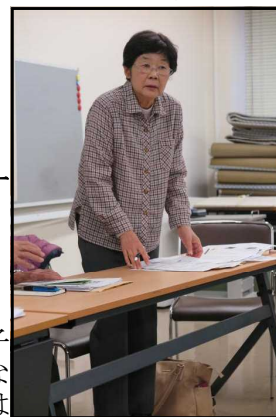
「3/1（日）13：30～ 内容「コンセプト・趣意書・アピール文の協議」

○第11回ピースくまもと設立準備事務局会

「3/28（土）13：30～内容「趣意書・骨子案の完成」

5 閉会挨拶 ……ピースくまもと設立準備事務局会副代表 上村真理子

本日は県社会福祉課下村課長にご参加いただき、貴重なアドバイス等をいただきありがとうございました。今年はオリンピックイヤーですが、加速して取り組みましょう。



上村副代表の挨拶



連絡先

ピースくまもと設立準備会 事務局長 高谷 和生
自宅 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺126-5
個人携帯 090-1513-5528
Eメール takayanagi912@yahoo.co.jp
<https://kumamoto-senseki.net/peace-kumamoto/>